様式A　技術英語講読（福田）

<table>
<tr><td colspan="6">科目にかかわる情報</td></tr>
<tr><td rowspan="3">科目の基本情報</td><td>授業科目
（欧文）</td><td colspan="2">技術英語講読
Reading on Technical English</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>一般・専門の別・
学習の分野</td><td>専門・自然科学系基礎
・　共通</td><td colspan="2">授業形態・学期</td><td>講義・後期</td></tr>
<tr><td>対象学生</td><td>ＭＳ－１</td><td colspan="2">必修・選択必修・
選択の別</td><td>選択</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教員にかかわる情報</td><td>担当教員・所属</td><td colspan="4">福田昌准・機械工学科</td></tr>
<tr><td>研究室等の連絡先</td><td colspan="4">研究室：福田，機械・電気電子工学科棟１階
E-mail：fukuda@tsuyama-ct.ac.jp</td></tr>
<tr><td rowspan="4">科目の学習・教育内容にかかわる情報</td><td>基礎となる学問分野</td><td>工学／機械工学</td><td colspan="2">学習・教育目標</td><td>Ｆ（Ｆ－２）</td></tr>
<tr><td>授業の概要</td><td colspan="4">機械・制御システムに関する取扱説明書，マニュアル，教科書等の技術英文の講読と文献紹介を行う。専門知識を確認しながら読解力の育成を図るとともに，技術英文の内容をまとめて発表する文献紹介を通してプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力の育成を図る。</td></tr>
<tr><td>学習目的</td><td colspan="4">英文の技術書や取扱説明書の内容を理解して仕事に活用したり，これを要約して分かりやすく伝えるための素養を育成する。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="4">１．技術英語単語の理解を深める。
２．専門知識を生かして，簡単な技術英文を理解できる。
３．技術英文の内容を要約して発表し，質疑応答に対応できる。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">履修にかかわると履修のアドバイス</td><td>履修上の注意</td><td colspan="4">本科目は「４５単位時間の学修で１単位とする」科目である。１単位あたり授業時間として１５単位時間開講するが，これ以外に３０単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。
文献紹介(発表)を行わない場合は，単位認定をしない。</td></tr>
<tr><td>技術者教育
プログラムとの関連</td><td colspan="4">本科目が主体とする学習・教育目標は「(F)コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力の育成，Ｆ－２：発表や討論をとおして，相手の考えや知識の相互理解ができること」である。付随的には「Ａ－２」にも関与する。</td></tr>
<tr><td>履修のアドバイス</td><td colspan="4">専門分野の基礎知識が前提となる。必ず予習をし，毎日英語に触れる機会を持つように心掛けること。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基礎・関連科目にかかわる情報</td><td>基礎科目</td><td colspan="4">英語，機械工学・電子制御工学に関する専門基礎知識</td></tr>
<tr><td>関連科目</td><td colspan="4">実践英語Ⅰ(専１)，実践英語Ⅱ(専２)</td></tr>
</table>

授業にかかわる情報				
授業の方法			「技術英文の講読」では，学生が技術英文を和訳することによって授業を進め，裏付けとなる専門基礎知識の確認も併せて行う。 「文献紹介(発表)」では，内容をまとめる(概要作成)とともにプロジェクターなどを用いて口頭による発表を行い，質疑応答を通して内容の理解を深める。	
授業計画	開講週		授業時間内の学習内容〔項目〕 (指示事項)	授業時間外の学習内容〔項目〕 (指示事項)
	前期	1週	● 講義の概要〔ガイダンス〕 大学入試問題(1)	予習・復習,特に予習が前提となる.数回，予習の状況を確認し，これを評価に加える.
		2週～4週	● 取扱説明書(1)〔VCR〕 オットーサイクル，応力ひずみ	
		5週・6週	● 短文(1)〔温度目盛，オームの法則，フライス盤〕 大学入試問題(2)〔アレルギー〕 ベルヌーイの定理 単語テスト(1)(6週目)	
		7週・8週	● ジュール熱，インターネット 商品の注意書き，携帯電話	
		9週～11週	● 小テスト(9週目) マニュアル〔フォークリフト〕 アルキメデスの原理 取扱説明書(2)〔アイロン〕 大学入試問題(3),	
		12週・13週	● 短文(2)〔トランス，ボイルの法則 大学編入学試験問題 コンピュータ音楽	文献紹介準備（冬季休業前に文献提示)〔概要作成，発表準備など〕
		14週・15週	● 単語テスト(2)(14週目) 文献紹介〔準備と発表〕 概要作成（主に自宅） プログラム（概要付)を作成 (期末試験)	
教科書，教材等			教科書：自作の教材(プリント) 参考書：	
成績評価方法			試験成績(７０％)〔期末試験成績(５０％)，小テストおよび単語テスト(２０％)〕，文献紹介(発表)(２０％)，授業時間外の学習成果(１０％)の総合評価とする。 試験（単語テストを除く）には英和辞典の持込を許可する。	
受講上のアドバイス			エンジニアに英語は必須である。授業には，各自で自発的，積極的に取り組むとともに，英語に触れる機会を多く持つように心掛けること。	